

目 次

馬事資料	
ウラジオストク日露大競馬会, 1909年(4)	立川健治 1
特別インタビュー記事	
うまからうまれるアート展	杉浦幸子 5
研究報告	
シンチグラフィー実施時の放射線防護	山田一孝 11
会員通信	
「La Route du Poisson 2022」への日本チーム参加	荒川由紀子 16
書籍紹介	
馬・車馬・騎馬の考古学—東方ユーラシアの馬文化—	木村李花子 22
日本ウマ科学会第36回学術集会 優秀発表賞受賞者紹介	23
学会記事	24
お知らせ	35
協賛団体・賛助会員名簿	36
編集後記	

Hippophile No. 96

- 編集委員 -

編集担当常任理事・編集委員長	楠瀬 良 (日本装蹄協会)	
編集委員	阿部 憲二 (全国乗馬倶楽部振興協会)	戸崎 晃明 (競走馬理化学研究所)
	荒川由紀子 (環境省)	永井富美子 (エディター)
	有吉 正徳 (競馬ライター)	沼田 恭子 (NPO 法人引退馬協会)
	北野あづさ (日本馬術連盟)	古林 英一 (北海学園大学)
	木村李花子 (東京農業大学)	三浦 暁子 (エッセイスト)
	近藤 誠司 (北海道大学)	守谷 久 (ジャーナリスト)
	近藤 高志 (JRA 競走馬総合研究所)	山下 大輔 (日本馬事協会)
	末崎 真澄 (馬の博物館)	山本 真広 (地方競馬全国協会)
	関 正喜 (ジャーナリスト)	

表紙絵：騎手 (The Jockey): アンリ・ド・トゥールーズ＝ロートレック (1864-1901) 1899年 49.8×34.1 センチ多色刷り

リトグラフ 馬の博物館蔵

「騎手」は、晩年に近い療養中に一連のサーカスシリーズとともに表した作品である。ロートレックは、少年の頃に父親とともに乗馬をし、競馬場にもしばしば通った経験があり、晩年に再びその情景を思い巡らしている。後ろ姿の騎手は、あるいは馬と競馬を愛した父と自分の姿を映し出しているのかもしれない。

日本ウマ科学会

Japanese Society of Equine Science